

「宮城県がん・生殖医療ネットワークキックオフミーティング」

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13：10～

会場：仙台国際センター 小会議室 1

次第

進行（事務局：立花）

1. 開会挨拶 宮城県がん・生殖医療ネットワーク代表
東北大学病院病院長、産婦人科学教室主任教授 八重樫伸生先生
2. 祝辞 JFSP（日本がん生殖医療学会）代表
聖マリアンナ医科大学産婦人科主任教授 鈴木直先生
3. 自己紹介
4. 連絡、確認事項
(大学) 宮城県がん生殖医療ネットワーク事務局 渡邊善先生
(がんセンター) 宮城県がん生殖医療ネットワーク幹事
宮城県立がんセンター 山田秀和先生
5. 閉会挨拶 宮城県がん生殖医療ネットワーク 幹事長
スズキ記念病院理事長 星和彦先生

宮城県においても、妊孕性温存による AYA 世代のがんサバイバーの QOL 改善をめざして、宮城県がん・生殖医療ネットワークを立ち上げました。ネットワークの発足にあたり、2016 年 11 月 12 日にキックオフミーティングを開催いたしました。同日は 日本がん・生殖医療学会理事長の鈴木直先生から祝辞とご講演を賜り、関係者の自己紹介、ネットワーク運用の説明、および意見交換が行われました。

ネットワークの運営において、迅速な対応を要する若年者のがん診療と妊孕性温存治療を両立させるべく、がん診療科、生殖医療提供施設、コーディネーター、及びコメディカルの“顔の見える連携”を目指し、ネットワーク運用の実際と連携の重要性を参加者全員で再確認しました。



